

---

# SysReturn Client V8.0

クックガイド

---

## マニュアルについて

SysReturn 8.0 client ユーザーマニュアルは、SysReturn 8.0 client のインストールとその機能について説明しています。

## 対象

このマニュアルは、SysReturn 8.0 client をインストールし、SysReturn 8.0 client をセットアップする必要がある人を対象としています。(以下「SysReturn」)。

## ドキュメントのフィードバック

ドキュメントを改善するためのご提案を歓迎しております。ご意見やご指摘のコメントがある場合は、[service@gfj.co.jp](mailto:service@gfj.co.jp) までご連絡ください。

## 技術サポートと育成リソース

マニュアル最新版をご希望の方は、弊社に連絡ください。テクニカルサポート関連のリクエストは、[service@gfj.co.jp](mailto:service@gfj.co.jp) に送信してください。

---

目次

1. 第一章 機能の概要.....	4
2. 第二章 システム要件..... エラー! ブックマークが定義されていません。	
3. 第三章 インストール前の準備.....	4
4. 第四章 基本用語..... エラー! ブックマークが定義されていません。	
5. 第五章 インストール.....	6
6. 第六章 Windows インターフェイスの操作.....	13
6.1、ホーム.....	13
6.2、追加.....	16
6.3、復元.....	17
6.4、削除.....	18
6.5、復元ポイントのロック.....	19
6.6、スタンドアロン環境.....	20
6.7、設定.....	22
6.7.1. 電源起動復元モードの設定.....	23
6.7.2. コンソールへの接続.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.7.3. ネットワーク設定.....	エラー!
6.7.4. ドメインへの参加/終了.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.7.5. ブートメニューの設定.....	エラー!
6.7.6. ブートメニューホットキーの設定.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.7.7. デバイスの制御.....	エラー!
6.8、その他.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.9、削除.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7. 第七章 Dos インターフェイスの操作.....	24
7.1、DOS インターフェイスに入る.....	24
7.2、保留.....	エラー! ブックマークが定義されていません。

- 
- 7.3、復元..... エラー! ブックマークが定義されていません。
  - 7.4、に復元..... エラー! ブックマークが定義されていません。
  - 7.5、追加..... エラー! ブックマークが定義されていません。
  - 7.6、削除..... エラー! ブックマークが定義されていません。
  - 7.7、整理..... エラー! ブックマークが定義されていません。
  - 7.8、開始点の更新 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
  - 7.9、設定..... エラー! ブックマークが定義されていません。
  - 7.10、削除 ..... 25
  - 8. 第八章 ネット同期コピー ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
    - 8.1 . ネット同期コピー機能の概要エラー! ブックマークが定義されてい  
ません。
    - 8.2 . ネット同期コピー ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
    - 8.3 . ローカル バックアップ エラー! ブックマークが定義されていません。
    - 8.4 . ローカルリカバリ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
    - 8.5 . ハードドライブを同期コピーするエラー! ブックマークが定義されて  
いません。
    - 8.6 . ローカルネットワーク設定を変更エラー! ブックマークが定義されて  
いません。
    - 8.7 . ヘルプツールの説明 . エラー! ブックマークが定義されていません。
  - 9. 付 録..... エラー! ブックマークが定義されていません。
    - 9.1 製品説明ツールの使用説明の復元エラー! ブックマークが定義され  
ていません。
      - 9.1.1 パスワードを忘れた場合(Acmpwd.exe) ..... エ  
ラー! ブックマークが定義されていません。
  - 10. よくある質問..... エラー! ブックマークが定義されていません。



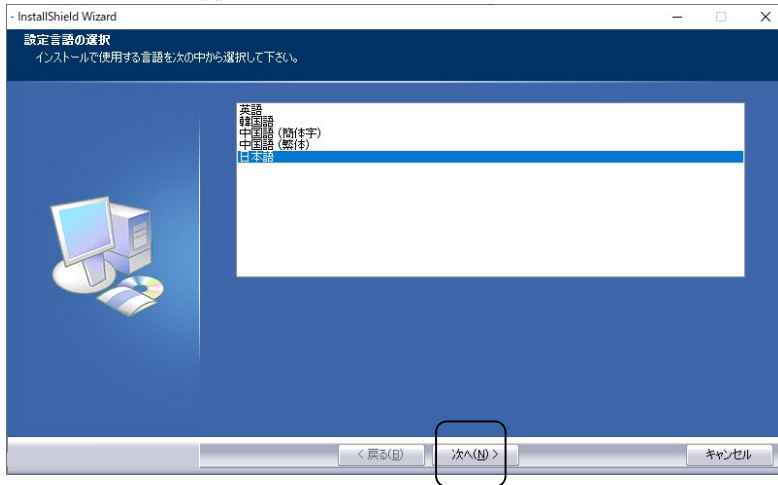
## 1. 第一章 インストール前の準備

- 1、 コンピュータ システムが正常に動作し、スムーズであること、システムの最小要件を満たしていることを確認します。
- 2、 CMOS の VRUS Warning を Disable として設定します。
- 3、 ハード ディスク情報が CMOS ハード ディスク情報と一致していることを確認します。一致しない場合は、BIOS 設定に入り、ハードドライブのモデルと容量を再検出する必要があります。  
マルチブート ツールを使用している場合は、ハード ディスク MBR 領域でツールが使用されていないことを確認します。(MBR 領域はマルチブートで使用されます。最初にツールをアンインストールする必要があります。インストールしない場合、クライアント側プログラムがオペレーティングシステムを損傷する可能性があります。)
- 4、 オペレーティング システムのユーザーには、システム管理者権限が必要です。
- 5、 コンピュータに古いバージョンの製品が既にインストールされている場合、または他の会社の同じ種類の製品がある場合は、まずアンインストールしてください。
- 6、 インストールの前に scandisk プログラムを実行することをお勧めします。ハード ディスクのエラーを確認し、ハード ディスク再編成プログラム (defrager) を実行すると、インストール後のプログラム実行効率が大幅に向上します。
- 7、 インストールする前にコンピュータをスキャンして、コンピュータにウイルスやトロイの木馬がないことを確認します。

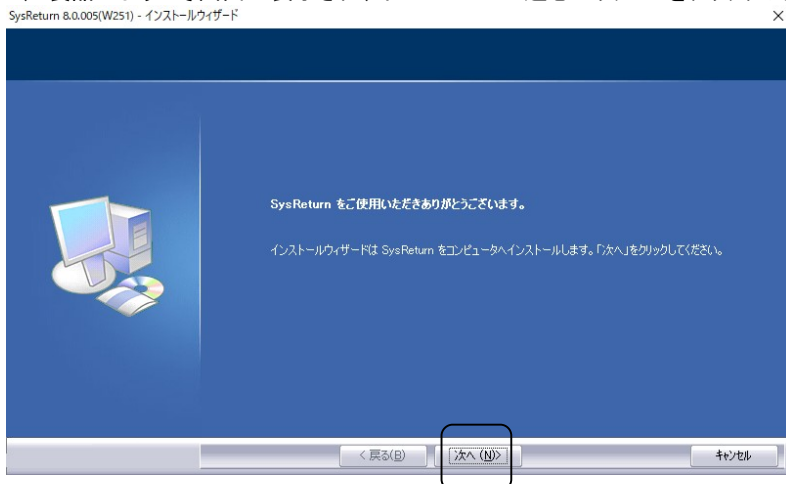
- 8、 この製品をインストールするときは、ウイルス対策ソフトウェアを一時的にオフにします。(少数のウイルス対策ソフトウェアがこの製品をコンピューターウイルスとして扱うためです。)
  
- 9、 このバージョンの復元保護機能は、最初の物理ハードディスクのすべてのセクターに対してのみ有効であり、2番目(またはそれ以上)のハードディスクのデータを保護することはできません。

## 2. 第二章 インストール

1、次の図に示すように、この製品インストーラ setup.exe を実行し、インストールの準備を行い、インストール プロセスの残りの部分をガイドします。言語を選択し、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

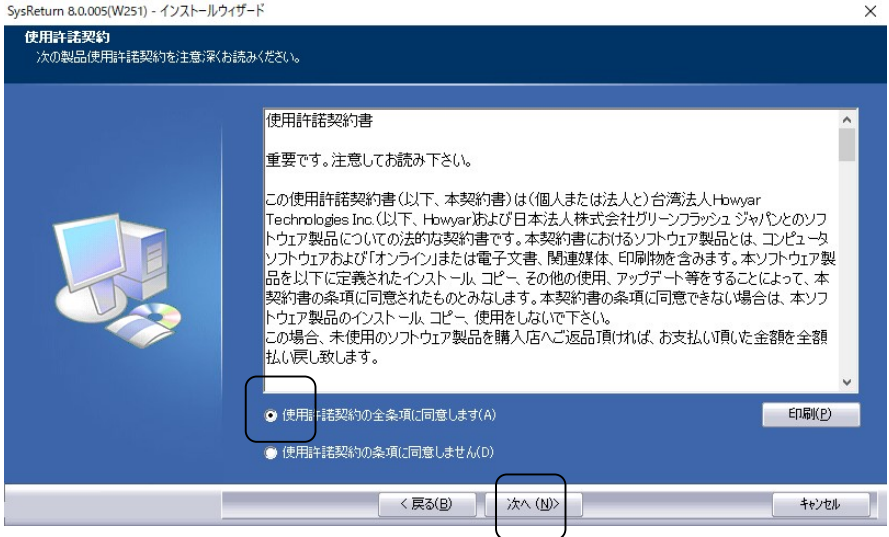


2、製品のようにそ画面が表示され、インストールに進む“次へ”をクリックします。





3、エンドユーザーソフトウェア契約画面が表示されますので、注意深く読んだ後「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

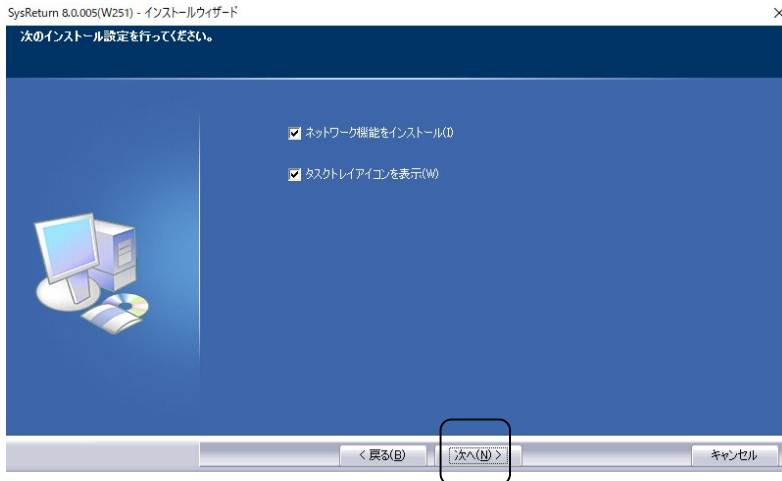


4、[変更] をクリックして、必要に応じてソフトウェアのインストール先フォルダを変更し、[次へ] をクリックします。

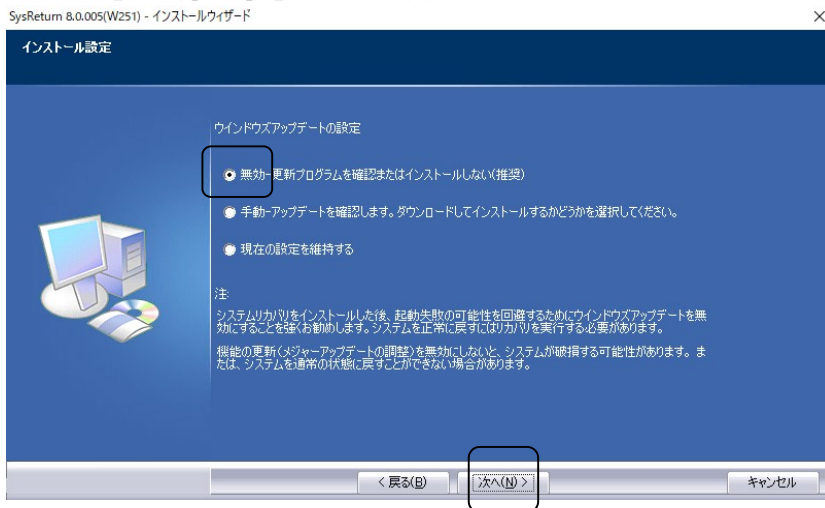


5、マスター側のリモート管理、リモートメンテナンス機能を受け取る必要がある場合は、[ネットワーク機能をインストール] オプションを選択してください。画面右下のタスクバー内

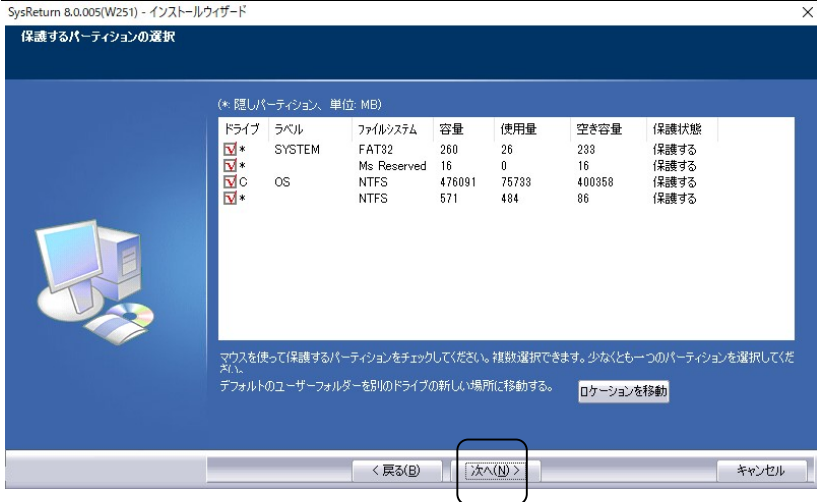
にアイコンを表示するには、「タスクトレイアイコンを表示」を選択します。



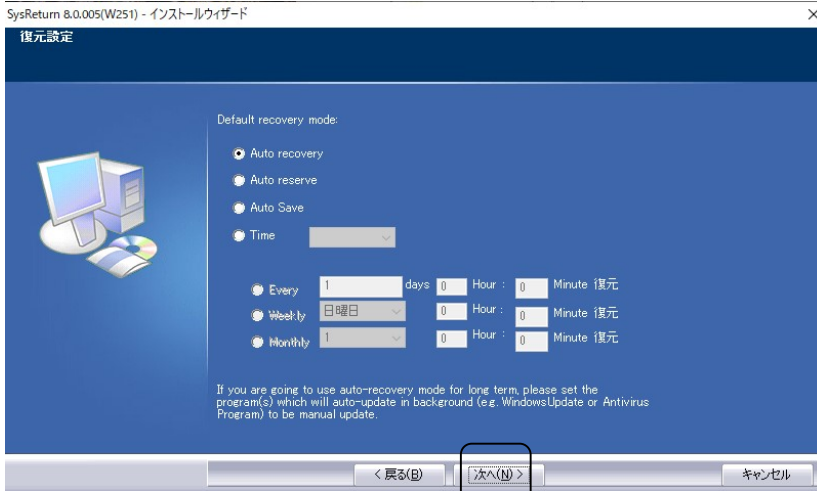
6、この時点で、システムの一部の機能をオフにするように求められます。これにより、製品の安定性とパフォーマンスが向上します。ウィンドウズアップデートの設定[無効(推奨)]にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。



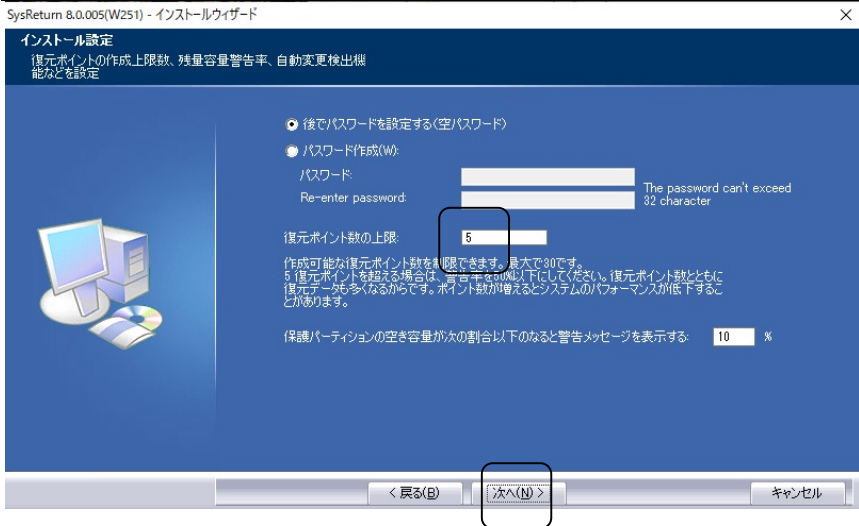
7、ハード ディスク パーティション情報が表示され、このインターフェイスで保護するパーティションを選択できます。次に、[次へ] をクリックします。ハードドライブに隠されたセクタがあるため、保護をチェックすることを強くお勧めします。



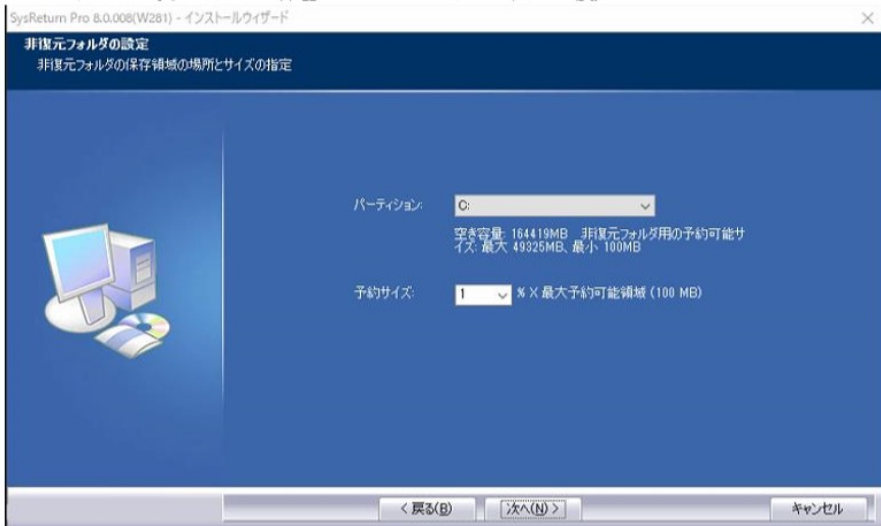
8、この画面では、「復元モード」を設定できます。設定が完了したら、「次へ」をクリックします。



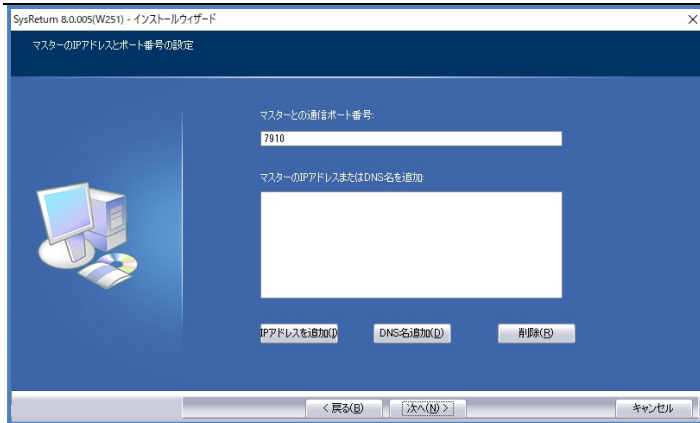
9、パスワードと最大復元ポイント数（最大 30 個の復元ポイントを選択）を設定してください。



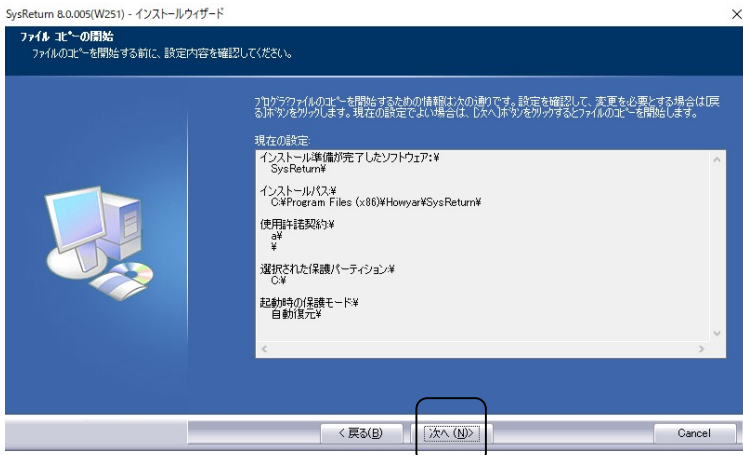
10、フォルダを設定しても、予約スペースのサイズと位置は復元されません。

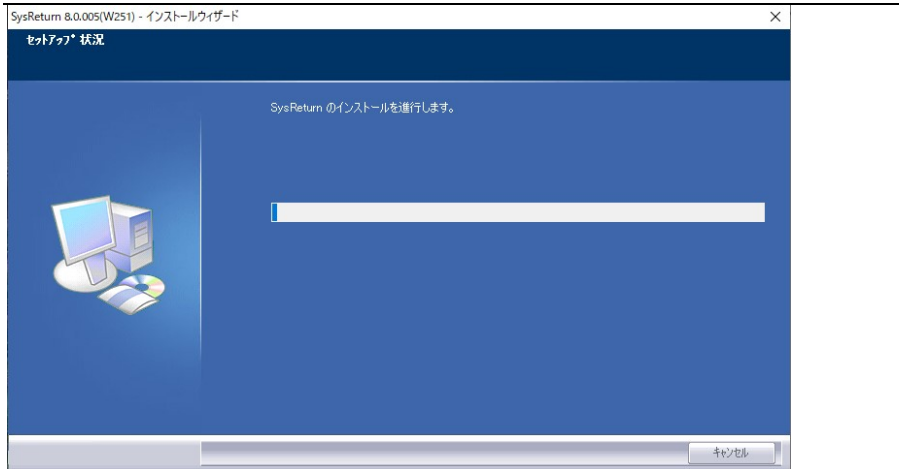


11、マスター(console)と通信するポートと IP アドレスを設定します。[ネットワーク機能をインストール] オプションを選択しなかった場合、この画面は表示されません。

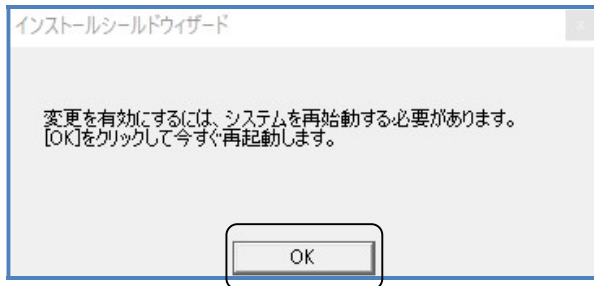
**注意:**

ここでの IP アドレスはマスターの IP アドレスであり、ポートはマスターインストール時のポート設定と一致する必要があるため、環境は他のネットワーク通信ポートと同じである必要があります。そうでない場合、マスター側の IP アドレスが正しく設定されていても、マスター側との正常な通信は維持されません。

**12. インストール内容を確認し、間違いがなければ「次へ」を押してください。****13. この製品プログラムのインストールを開始します。**



14、Windows の部分的なインストールが完了したら、コンピューターを再起動する必要があります。再起動後、この製品プログラムは DOS の下の復元プログラムを自動的にインストールします。

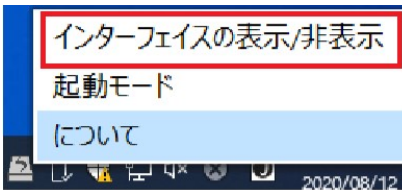


### 3. 第三章 Windows インターフェイスの操作

Windows オペレーティングシステムで、クライアント側の製品インターフェイスに入ります。保留、復元、保存、削除、設定、復元情報の表示などの機能を当マシンで実行できます。

#### 【操作方法】:

<1>タスクバー内のこの製品アイコンにマウスを移動してください。マウスを右クリックして次のメニューから「インターフェイスの表示/非表示」を選択します。



<2>ログイン画面が表示され、パスワードを入力すると（既定のパスワードは空です）、メインインターフェイスが表示されます。

SysReturn

ホーム 復元ポイントの管理 スタンドアロン環境 設定

17%

復元ポイント: 1/5  
First RP 2020/05/01

■ 使用済: 76.56GB  
■ 残容量: 387.54GB  
■ 保護サイズ: 464.10...

復元元 クイック追加

V8.0.005(W251) 33.1、ホーム

#### 復元ポイント情報

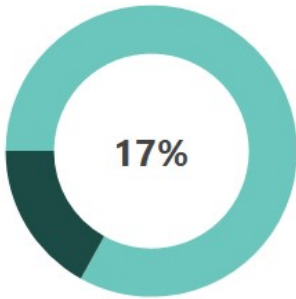
現在、確立している復元ポイント情報を表示します。




復元ポイント :	2/5
 First RP	2020/05/01
 <b>20200501174015</b>	2020/05/01

#### 保護エリア情報

保護エリアの総容量、保護エリアの使用済み容量、保護エリアの残りの容量に関する情報を表示します。

注意：残りの領域が低すぎると、部分的な復元ポイント機能が強制的にロックされます。運用を再開するには、スペース解放が必要です。



	使用済 :	78.77GB
	残容量 :	385.33GB
	保護サイズ :	464.10...



## パーティション情報

ハード ディスク パーティションの分割情報を表示します。

SysReturn

ホーム 復元ポイントの管理 スタンドアロン環境 設定

### ← ハード ディスク 分割領域データ

ハード ディスクの総容量 : 465.76GB  
保護エリアの容量 : 464.10GB

ディスク ドライブ	ラベル	ファイル システム	サイズ	使用可能なサイズ	保護状態
*0		FAT32	260.00MB	227.00MB	保護
*1		MS Reserved	16.00MB	0B	保護
C	OS	NTFS	464.93GB	389.99GB	保護
*3		NTFS	571.00MB	82.30MB	保護

残りのスペースが警告値を下回ったときに通知する :  %

V8.0.005(W251)

## 空き容量アラーム

設定 ハードディスク保護領域の残り領域が設定値より小さい場合、警告ウィンドウが表示されます。

### 説明:


復元システムは、保護パーティションの残りの領域を厳密に制御します。保護パーティションの残りの領域が保護パーティションの合計スペースの 10%未満である場合、警告ウィンドウがポップアップ表示され、ユーザーにプロンプトが表示されます。: ディスクの空き容量が不足しています; 保護パーティションの残りの領域が保護パーティションの合計スペースの 5%未満である場合、**プログラムは保護パーティションをロックし、ユーザーのデータを書き込み操作の実行ができませんようにします。ユーザーのデータ読み取りと削除のみを許可します**; また、プログラムはクライアント側のマスターインターフェイスを開くことを許可しません。復元ポイントを保存する操作をユーザーが実行できないようにするため、ユーザーがクライアント側のインターフェイスを開こうとすると、復元ポイント開始点を更新するように求められます。

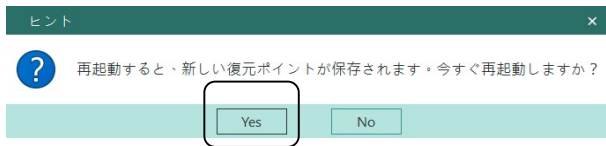
### 3.2、追加

#### 機能の概要：

現在の保護パーティションの状態を、後で復元するための動的復元ポイントとして新しく作成します。この製品クライアント側は、ハードドライブの容量に応じて、最大 29 の動的復元ポイントを保持することができます。29 個の復元ポイントがいっぱいになった場合、最新の保存された復元ポイントは、最も古い復元ポイントに上書きされます。

#### 【操作方法】：

<1>メイン インターフェイスの  クイック追加 アイコンをクリックします。(このセーブポイントメソッドでは、名前と説明を設定できません。DOS で直接ポイントを保存します。) 次の画面が表示されます：



<2> 2 番目の追加方法: 機能バーアイコン  復元ポイントの管理 をクリックすると、次のインターフェイスが表示されます：



復元ポイントの管理インターフェイスアイコン  復元点追加 をクリックすると、次のインターフェイスが表示されます：



この時点でハードディスクのステータスを保存する必要があります。後で区別するために、復元ポイントの名前と復元ポイントの説明を入力してください。

[決定] をクリックすると、Windows で復元ポイントが作成されます。(再起動を選択して、コンピューターの再起動時に復元ポイントを保存します)

注意:[再起動]のチェックを外すと、コンピューターは Windows デスクトップに復元ポイントを追加します。Windows の背景にあるアーカイブがコピー操作中である場合、新しい復元ポイントのコンテンツ データが正しくないため、次回この時点で復元したときにデータが不足していることが原因で、電源が切れる可能性があります。したがって、新しい復元ポイントが長期間使用され、コンテンツ データが正しいことを確認するには、[再起動] をチェックして新しい復元ポイントを追加します。


### 3.3、復元

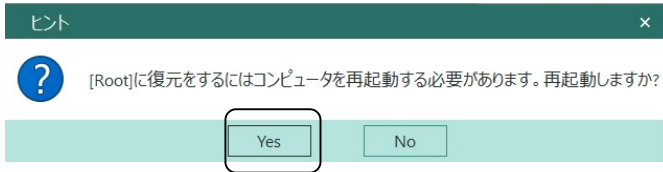
機能の概要：

ハード ディスクの状態を、以前に保存した任意の復元ポイントの状態に復元します。

**【操作方法】:**

<1>メインインターフェイスで復元ポイントの管理を選択した後、メインインターフェイスの

 復元する アイコンをクリックすると、次のインターフェイスが表示されます:

**最後に保存したバックアップ ポイントに戻す :**

ハード ディスクの状態を最後に保存した復元ポイントの状態に復元します。

**別のバックアップ ポイントを選択する:**

ハード ディスクの状態を、以前に保存した復元ポイントの状態に復元します。この復元ポイントには、以前に保存した動的復元ポイントまたは開始復元ポイントを指定できます。

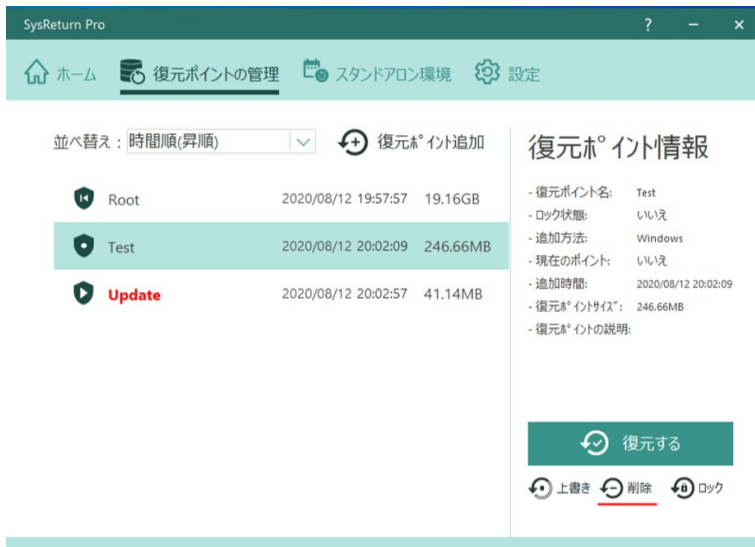
<2>必要に応じて選択したら、[決定] ボタンをクリックして復元操作を開始します。

**3.4. 削除****機能の概要:**

以前に保存した不要になった 1 つ以上の復元ポイントを削除します。削除後、この復元ポイントへのハードディスク状態には戻れません。

**【操作方法】:**

<1>復元ポイントの管理を選択した後、次のインターフェイスが表示されます:



〈2〉削除する必要がある復元ポイントを選択し、[削除] ボタンをクリックして削除します。削除後、この復元ポイントの状態には復元されません。

注: 現在の復元ポイントは削除できません。したがって、現在の復元ポイントは、削除可能な復元ポイントの一覧に表示されません。

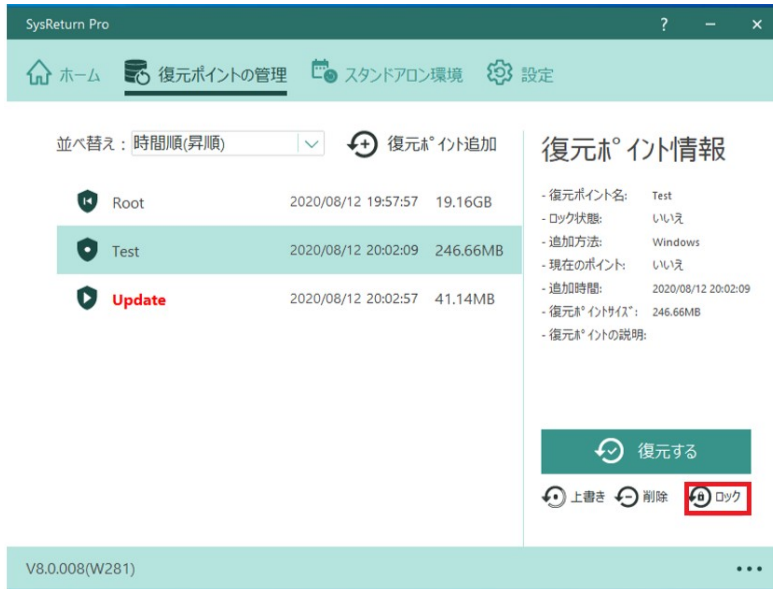
### 3.5. 復元ポイントのロック

機能の概要:

復元ポイントのロックは、削除したり新しく作成された復元ポイントで上書きしたりできません。必要なハードディスクの状態が誤って削除または上書きされるのを防ぎます。復元ポイントのロックを解除して、上書き可能な状態に戻すことができます。

【操作方法】:

〈1〉赤いボックスのアイコンをクリックします:



<2>ロックする復元ポイントを選択し、[ロック] ボタンをクリックしてロックします。

<3>ロックを解除する復元ポイントを選択し、[ロック解除] ボタンをクリックして、復元ポイントのロックを解除し、復元ポイントを元の状態に戻します。

注意: 復元ポイントのロック機能は、動的復元ポイントに対してのみ有効であり、復元ポイント開始点をロックすることはできません。

### 3.6、スタンドアロン環境

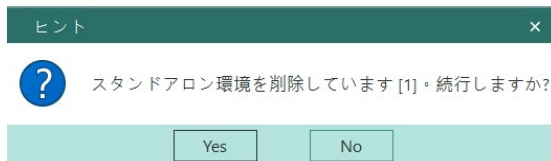
- 1、 インターフェイスの機能バーの **スタンドアロン環境** アイコンをクリックすると、次のようなインターフェイスが表示されます:



2、 [追加] をクリックすると、次のインターフェイスが表示されます。:



3、 [削除] をクリックすると、新しく作成された独立環境が削除されます。



4、 [変更] をクリックすると、次の画面が表示されます:

← スタンドアロン環境データの変更

依存点: First RP

名前: 1

パスワード:

パスワードの確認:

説明:

決定

V8.0.005(W251)

## 5、クリックしてポップアップウィンドウを開きます：

ヒント

?

スタンドアロン環境に入るには[%s]を再起動する必要があります。続行しますか?

Yes No

### 注意：

スタンドアロン環境表示リストは開くように事前設定されており、待機時間を設定したり、スタートアップ画面に表示するかどうかを設定したりできます。スタンドアロン環境に入った後は、ソフトウェアを開くことができず、スタンドアロン環境での操作は復元されません。

## 3.7、設定

### 機能の概要：

リセットパラメータ、マスターの接続ポート、ネットワークプロパティなど、必要に応じてこの製品の関連パラメータを設定できます。



### 3.7.1 電源起動復元モードの設定



#### 復元モード

- **自動復元:** 復元を実行すると、コンピューターを再起動するたびに、システムが現在選択されている復元ポイントの状態に自動的に復元されます。
- **自動保存:** ストレージの復元ポイントを設定すると、コンピューターを再起動するたびに新しい復元ポイントが自動的に作成されます。(最大復元ポイントの上限に達すると、最も古く、ロックされていない動的復元ポイントが上書きされます。)
- **手動復元:** 手動復元を設定すると、コンピューターを再起動してもシステムは以前に実行した操作を復元しません。
- **時間指定保存:** 数日間、現在のハードディスクの状態を保存します。必要に応じて数日ごとに 1～99 日間の範囲を選択できます。
- **時間指定復元:** 数日ごとに復元します。必要に応じて数日ごとに 1～99 日間の範囲を選択できます。

#### 注意:

7 日ごとに復元するように設定すると、コンピューターは 8 日目に初めて電源を入れると自動的に復元操作を実行します。8 日目は電源が入らず、14 日目に電源を入れると、14 日

目の電源がオンになったときに、自動的に復元操作を実行します。15 日目に電源を入れると、また自動的に復元操作を実行します。など、復元操作は 15、22、29 ...日の後に初めて電源を入れた日に自動的に復元が実行されます。

ほかの機能はユーザーマニュアルをご参照ください。

## 4. 第四章 DOS インターフェイスの操作

DOS アニメーション起動時に、ホームボタンを押して DOS 操作インターフェイスに入ります。

### 4.1、DOS インターフェイスに入る

説明:

1.この製品のすべてのインターフェイスは、Windows スタイルです。

2.キーボード操作のサポート。

3.キーボード操作。

(1) 矢印キーの左右のキーは機能選択ボタン、矢印キーの上下のキーで復元ポイントの選択、〈Enter〉は確認を示し、〈ESC〉はキャンセルまたは返品を意味します。

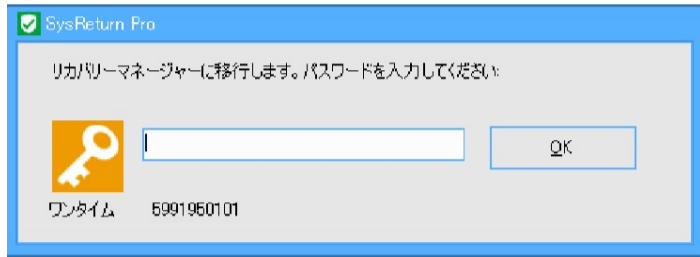
(2) 〈Tab〉キーと〈Shift〉 〈Tab〉を使用すると、個々のインターフェイス コントロールを切り替えることができます。

4. 製品の機能を実行してコンピューターを再起動するように設定した後、コンピューターの電源を入れたときに〈Home〉または〈Scroll Lock〉を押して最後のコマンド操作をキャンセルすることができます。

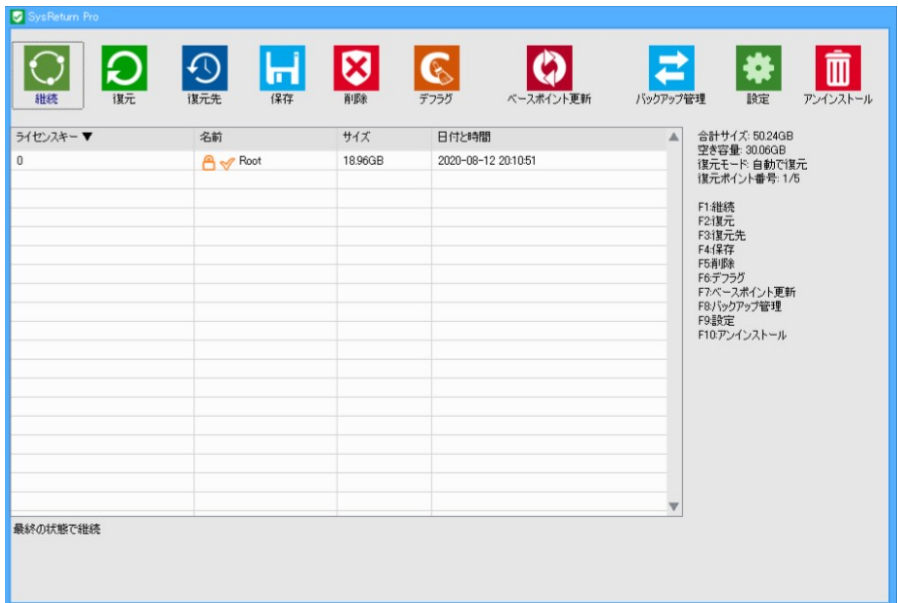
**詳細な操作:**

DOS 操作インターフェイスに入る方法は 2 つあります:

- ・ コンピュータの BIOS の電源が入った後、Winodws に入る準備をすると、背景を持つカウントダウン ライト バーが表示されます。キーボードの〈Home〉キーを押すと、DOS インターフェイスのログイン画面が表示されます。
- ・ コンピューターの BIOS 起動画面 RUN が実行された後、Winodws に入る準備をすると、背景を持つカウントダウンライトバーが表示されます。キーボードの〈ScrollLock〉キーを押すと、DOS インターフェイスのログイン画面が表示されます



パスワードを入力したら、DOS メイン インターフェイスに移動します。



ほかの機能はユーザーマニュアルをご参照ください。

#### 4.2、アンインストール

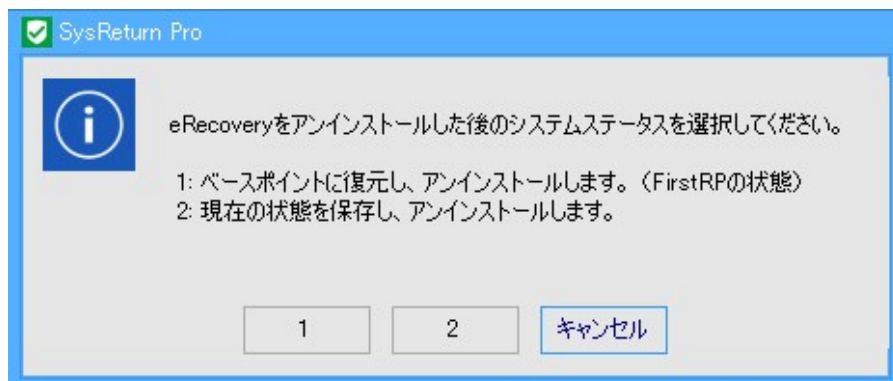
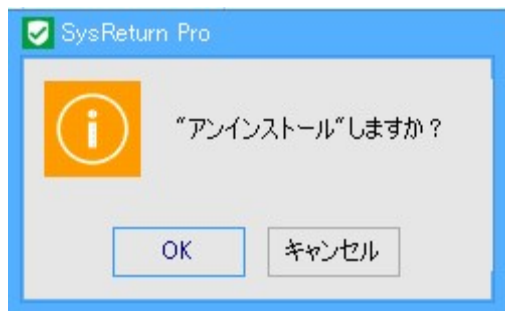


DOS の下でのアンインストール機能は、システムを復元のベースポイントに復元した後、この製品を削除することです。すべての動的復元ポイントが削除され、動的復元ポイントのデータは保持されません。動的復元ポイントの削除を維持する場合は、この製品の windows の下のアンインストール機能を使用します。

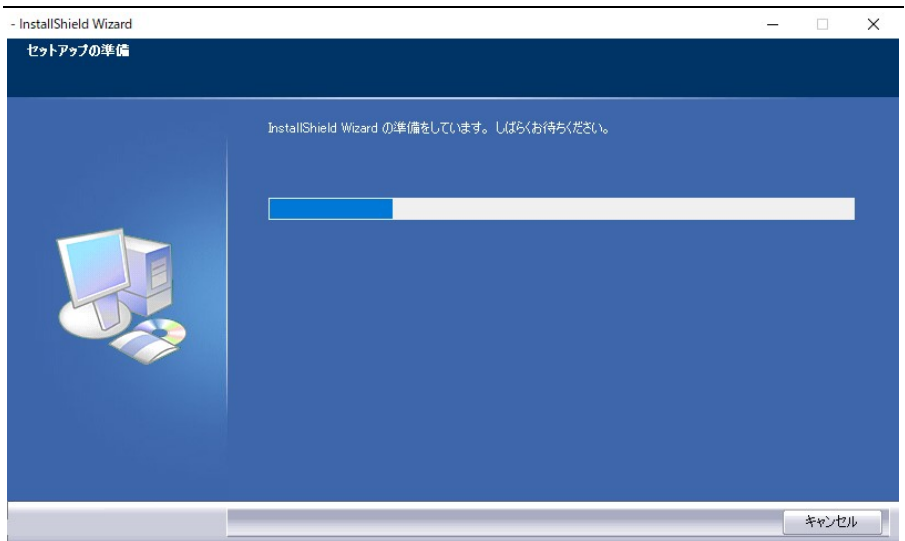
DOS でアンインストールを実行すると、システムは 2 回再起動します。復元しないデータの保持と開始点の更新は個別に実行されます。

【操作方法】:

<1> DOS メイン インターフェイスで [アンインストール] を選択した後に表示されます:



<2> 1 または 2 を選択し、[OK] をクリックして、この製品をアンインストールします。コンピュータは、まず Windows オペレーティングシステムに入り、Windows で復元されたクライアント側プログラムを自動的に削除します。



<3> その後、コンピュータが再起動されます。起動時に初期復元ポイントを自動的に更新し、DOS のプログラムを削除します。

<4> オペレーティング システムに入ったら、アンインストールが終了します。

備考：

DOS 上からは、「ベースポイント」または現在の状態でのアンインストールのみ可能です（上記の<2>の説明）。任意のポイントを選択した状態でアンインストールしたい場合は、事前に任意のポイントを「ベースポイント更新」にしてから実行してください。

## SysReturn Client V8.0    クイックガイド

---

2020 年 10 月 20 日

製品サポート

株式会社グリーンフラッシュジャパン

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-22-2 神宮レジデンス 1F

TEL 03-5775-2585    FAX 03-5775-2586

URL: <http://www.gfj.co.jp>

---